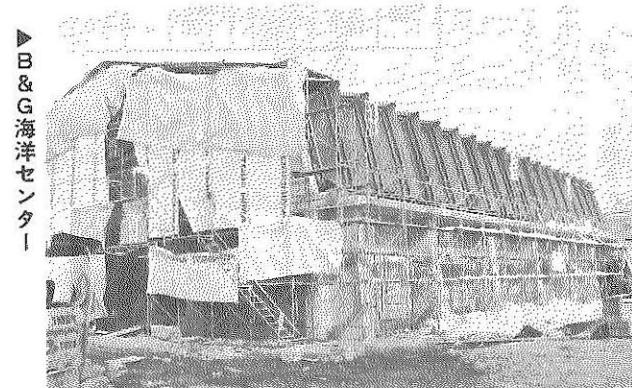


人	(58. 2. 1現在)
15,16,	231人
31,	060人
世帯数	291人
7,	768

▶勤労婦人センター



▶B&amp;G海洋センター



初年度には、地元採用者七

# 春完成日指し工事急ピッチ

## 市内三カ所に体育施設完成

雪解けとともに、市内の三ヵ所で体育施設が完成します。

いずれも昨年夏に着工されたもので、例年ない暖冬により工事は急ピッチです。

地域社会体育の重要性が叫ばれているなかで大きな期待が持たれています。これらの施設をいかに活用していくかは皆さんです。それぞれの施設の特性を生かした利用をお考えください。

### 働く婦人の憩いの場に

### 勤労婦人センター

市勤労婦人センターは、市内

の働く婦人の文化・スポーツ活

動に活用してもらおうと、昨年

七月、労働省の補助を受け着工

されたものです。

共働きの多い本市で、はじめ

ての婦人のための施設として誕

生したわけです。

センターは管理棟と体育馆か

らなり、延べ面積六千六平方メー

トル。総工費一億四千万円で郡

町三丁目に建てられました。

### 林業者健康トレーニングセンター

### 海洋セントラル

### 男子雇用型企業に期待大

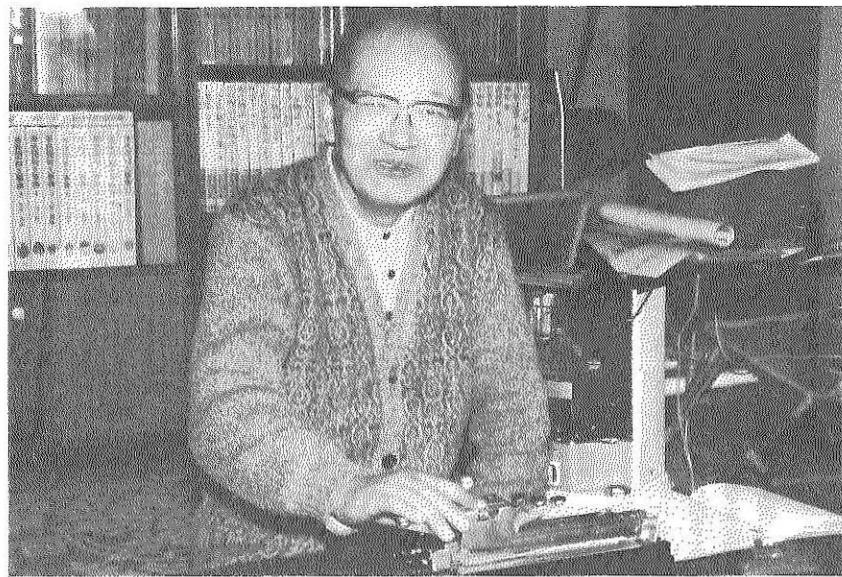
## 海洋性スポーツと レクリエーションの場として

## 朝日精密工業の進出決定

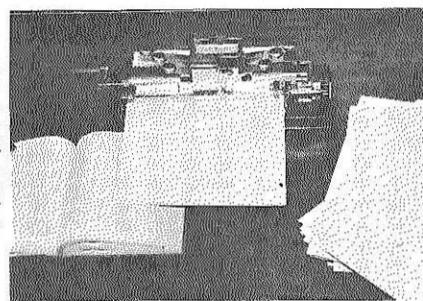
### 男女雇用型企業に期待大

### 朝日精密工業の進出決定





▲今も元気に点訳奉仕を続ける中村さん



▶六つの点で文字を表わしていく点訳機

## 点訳奉仕に情熱を燃やす 中村正三さん

### 今、大作「宮本武蔵」に挑戦中

今月号は、六十八歳の今もなお、点訳奉仕に情熱を燃やしている中村正三さん(68)元町二丁目)を訪ねました。

中村さんが点字を始めたのは、昭和四十九年のことです。

中村さんは、それまでに点字とのかすかな出会いがあります。それは、中学時代、江戸川乱歩の「二銭銅貨」という作品を読んだときです。この作品は、点字で秘密の連絡をするという内容で、点字とはおもしろいものだなあと感じたそうです。

中村さんは、点字を始めたのは道を歩いていると、点字講習会のポスターが目にとまりました。「二銭銅貨」を思い出し、四十一年余り勤めた

松文産業株式会社を、定年退職してしまったある日、中村さんは道を歩いていた。点字講習会のポスターが目にとまりました。

中村さんは、今までに約百冊ほどの本を点訳しています。その中でいちばんの大作は、吉川英治の「新平家物語」です。三十八冊の大部となり、完成まで三ヶ月間もかかりました。

中村さんは、今、同じ吉川英治の「宮本武蔵」に挑戦中です。点字図書館にある「宮本武蔵」は、もう何人の人に貸し出され、ぼろぼろになつたので、作

### 冬の風物詩 歳の市

市内近郊で、昔ながらに作られるござぼうしやふかぐつ、きね、うす、かんじきなどの店や石川県の白峰村から持ち込んだ名物堅どうふやトチもちなど、この日は全部で二十四店、千五百点もの品物がありました。

中村さんは、いかにも簡単にいつて、なかなかないへんな作業

ができますが、どうして、どう

と中村さんは、いかにも簡単にいつて、なかなかないへんな作業

